

日本一広大な面積を有する本市において、特に支所地域での人口減少や少子高齢化の進行が著しく、地域の担い手不足や地域産業の衰退などの地域課題が浮き彫りとなっている。一方でこれらの地域には、急峻な地形からの豊富な水や、市域の92%を占める広大な森林など、自然エネルギーのポテンシャルが高い。この地域特性を活かした小水力発電を中心に、木質バイオマスが小水力発電を補完する仕組みを構築し、自然エネルギーの地産地消と地域内資金循環を実現することで、地域の活力を取り戻し、脱炭素社会の推進を図る取り組みが令和5年、環境省の脱炭素先行地域に選定された。

